

「自然災害について」

網津小学校 6 年 野口 心凜

私は最近、自然災害のニュースが多くなっていると感じています。

例えば、時期に近いものだとして今年の台風 7 号・8 号の影響で大雨が降って洪水が起こったり、川が氾濫したりして多くの小学校が休校になりました。また、2015 年の鹿児島県の口永良部島での火山噴火で、二人の負傷者が出ました。

世界に目を向けると、ベネズエラの地震ではマグニチュード 7.2、マグニチュード 7.5 の大地震が起こり、6 月 30 日時点では 1700 人というたくさんの命が奪われたり、数万人が行方不明になっていたりして、負傷者は 5000 人を超えています。

他にも、自然災害には、地震、火山噴火、風水害、土砂災害、雪害などがありますが、熊本県では、特に記憶にのこっているものは熊本地震ではないでしょうか。

今年で熊本地震が発生して 10 年の年月が経ちますね。毎年 4 月には、当時を振り返るニュースや追悼番組をたくさん目にします。

私は、熊本地震のときは 1 歳で、地震についての記憶はありません。しかし、当時を振り返るニュースを見て、当時はすごく大変だったのだろうな、家が崩れてすごく不安になっていたのだろうな、と感じました。また、275 人もの命が奪われたことにすごく悲しく、心が痛みました。当時の様子は分からないことばかりで、津波はきていなかったのだろうかという疑問をもつほどでした。

そこで、母や父に熊本地震で経験したことや過ごし方、大変だったことを聞いてみました。その時は 1 日だけですが、車中泊といって車の中でご飯を食べたり、過ごしたりしていたそうです。兄妹全員が怖がっていて、家に入りたくないと言うので、祖母がカセットコンロでラーメンを作ってくれて食べていたそうです。

大変だったことは地震の後の大雨だったそうです。なぜ大変だったかというと、通学路が雨で浸水していて通れなくなっていたからとのことでした。家には被害はなかったのですが、大きな地震や大雨だったので家族みんなが不安になっていました。

熊本地震は夜中に地震が起こりました。そのため、私たち家族は全員が集まって避難することができてよかったなと考えました。もし昼だったら、みんないる場所がバラバラなので安否確認ができなくなり、さらに不安になっていたと思います。本当に

みんなが集まっているときに心強かったと思います。

地震はいつ起こるかわからないので、これからはずぐに外に出られるよう室内に靴を準備したり、非常食などをまとめたりするようにしたいです。

また、このような自然災害、主に地震で亡くなる人、怪我をする人を減らしたいです。最初から0人にすることは難しいと思いましたが、少なくすることは可能なのではないのでしょうか？

例えば、Wi-Fi がいない GPS 付きの連絡アプリがあると、その人がどこにいたかが分かって、すぐに救助に行けて助かる人がたくさん増えると思います。

自然災害は人では止められるものではありません。そして、被害を0にはできません。ですが、みんなで寄り添い合う心を深めるとみんな安心して暮らせて、心配もなくなるのではないかと思いました。

私は家族が体験した熊本地震の話から、もし自然災害が起こったときには、みんなで寄り添い合い、心を深め合おうと決意しました。そして、日ごろから家族の絆を深めていこうと思いました。兄弟のお世話をしたり、両親に悩みを相談したりし、互い支え合える家族にしたいです。

みなさんも自然災害が起こったときには、家族のみんなと寄り添い合い、心を深め合うことを意識してみましょう。そして日々の家族と過ごす時間を大切にしてみましょう。

これで発表を終わります。